

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大福

(氏名) 谷 正明
 (氏名) 横田 浩二
 特定取引勘定設置の有無 有
 TEL 092-723-2502

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	65,174	△5.5	9,105	△12.2	21,627	240.4
21年3月期第1四半期	68,968	—	10,371	—	6,354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	25.24	—
21年3月期第1四半期	7.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	11,631,943	625,149	4.7	630.06
21年3月期	11,781,256	589,941	4.3	588.33

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 549,139百万円 21年3月期 513,528百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(第二基準)」は、確定次第別途開示いたします。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	133,800	△9.6	17,500	△7.1	23,500	121.7	27.27
通期	264,500	△5.9	33,700	988.7	28,000	27.7	32.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4・その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 859,761,868株 | 21年3月期 | 859,761,868株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 3,081,462株 | 21年3月期 | 3,066,972株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 856,684,765株 | 21年3月期第1四半期 | 856,238,918株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

■ 第一種優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
22年3月期	—				14 00
22年3月期(予想)		7 00	—	7 00	

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経常収益は、651億7千4百万円となりました。連結経常収益の主な内訳は、資金運用収益が500億7百万円、役務取引等収益が104億8千万円、その他業務収益が36億9千6百万円、その他経常収益が9億3百万円となりました。なお、資金運用収益のうち、貸出金利息は408億6千6百万円、有価証券利息配当金は80億9千2百万円となりました。一方、連結経常費用は560億6千9百万円となりました。連結経常費用の主な内訳は、資金調達費用が86億5千7百万円、役務取引等費用が40億5千8百万円、その他業務費用が6億5千2百万円、営業経費が330億5千7百万円、その他経常費用が96億4千2百万円となりました。

この結果、連結経常利益は91億5百万円、連結四半期純利益は、連結子会社を清算する方針としたことに伴い繰延税金資産を計上したことから216億2千7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、個人預金が堅調に推移しました結果、前年度末比2,193億円増加し10兆4,298億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金の期末残高は、住宅ローンを中心とした個人貸出金は堅調に推移しましたが、資金需要の低迷により法人貸出金が減少した結果、前年度末比1,074億円減少し8兆198億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比499億円増加し2兆3,450億円となりました。

(4) 資産運用商品

3行合算の個人預かり資産運用商品の期末残高は、投資信託および個人年金残高の増加を主因に、前年度末比673億円増加し1兆3,347億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

1. 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

2. 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成21年3月期の予想損失率等を適用して計上しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末に使用した将来の業績予測の結果に、当該前連結会計年度末からの経営環境および一時差異等の発生状況の著しい変化等を加味して判定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の処理

当社及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。なお、連結損益計算書上における法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	531,569	532,240
コールローン及び買入手形	32,256	153,282
買入金銭債権	130,377	144,459
特定取引資産	2,029	1,770
有価証券	2,345,072	2,295,083
貸出金	8,019,815	8,127,246
外国為替	5,203	6,572
その他資産	165,427	122,569
有形固定資産	189,884	189,089
無形固定資産	183,345	185,233
繰延税金資産	119,382	116,950
支払承諾見返	74,862	77,391
貸倒引当金	△167,160	△170,509
投資損失引当金	△123	△123
資産の部合計	11,631,943	11,781,256
負債の部		
預金	10,085,117	9,932,583
譲渡性預金	344,695	277,900
コールマネー及び売渡手形	2,400	70,000
債券貸借取引受入担保金	11,238	6,563
特定取引負債	4	—
借入金	140,174	483,826
外国為替	569	800
短期社債	55,000	35,000
社債	155,127	154,916
その他負債	99,363	114,030
退職給付引当金	504	488
利息返還損失引当金	1,131	1,128
睡眠預金払戻損失引当金	3,534	3,766
その他の偶発損失引当金	493	374
再評価に係る繰延税金負債	32,309	32,270
負ののれん	266	273
支払承諾	74,862	77,391
負債の部合計	11,006,794	11,191,315

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	104,263	104,263
利益剰余金	259,589	241,430
自己株式	△2,508	△2,503
株主資本合計	486,143	467,989
その他有価証券評価差額金	21,800	5,090
繰延ヘッジ損益	△5,347	△6,269
土地再評価差額金	46,542	46,717
評価・換算差額等合計	62,995	45,537
少数株主持分	76,009	76,413
純資産の部合計	625,149	589,941
負債及び純資産の部合計	11,631,943	11,781,256

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	68,968	65,174
資金運用収益	55,079	50,007
(うち貸出金利息)	42,886	40,866
(うち有価証券利息配当金)	10,472	8,092
役務取引等収益	11,028	10,480
特定取引収益	71	86
その他業務収益	1,548	3,696
その他経常収益	1,239	903
経常費用	58,596	56,069
資金調達費用	12,734	8,657
(うち預金利息)	7,437	4,669
役務取引等費用	3,540	4,058
その他業務費用	2,060	652
営業経費	33,544	33,057
その他経常費用	6,715	9,642
経常利益	10,371	9,105
特別利益	1,403	1,371
固定資産処分益	49	59
償却債権取立益	1,341	1,312
その他の特別利益	12	—
特別損失	502	523
固定資産処分損	297	193
減損損失	35	294
その他の特別損失	168	35
税金等調整前四半期純利益	11,272	9,953
法人税等	4,834	△11,267
少数株主利益又は少数株主損失(△)	83	△406
四半期純利益	6,354	21,627

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】個別業績の概況（株式会社 福岡銀行）

平成21年7月31日

会 社 名 株式会社 福岡銀行

代 表 者 取締役頭取 谷 正 明

(URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 経営管理部長 横 田 浩 二

TEL (092) 723-2622

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第1四半期の個別業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	46,289	△2.3	8,845	△23.3	21,655	214.4
21年3月期第1四半期	47,386	—	11,531	—	6,888	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,459,888	428,059	5.0
21年3月期	8,564,256	559,649	6.5

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 428,059百万円 21年3月期 559,649百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	453,372	364,392
コールローン	32,256	156,882
債券貸借取引支払保証金	10,387	10,101
買入金銭債権	123,420	133,339
特定取引資産	1,831	1,656
有価証券	1,456,804	1,425,858
貸出金	6,106,920	6,211,567
外国為替	3,370	3,941
その他資産	99,728	94,033
有形固定資産	142,252	141,446
無形固定資産	7,505	7,630
繰延税金資産	88,478	84,262
支払承諾見返	54,782	54,740
貸倒引当金	△ 115,336	△ 119,776
投資損失引当金	△ 5,885	△ 5,819
資産の部合計	8,459,888	8,564,256
負債の部		
預金	7,155,803	7,025,047
譲渡性預金	269,553	248,772
コールマネー	156,331	83,575
債券貸借取引受入担保金	11,238	6,563
特定取引負債	4	—
借入金	181,888	374,932
外国為替	550	781
社債	103,127	100,416
その他負債	62,020	73,217
利息返還損失引当金	1,060	1,069
睡眠預金払戻損失引当金	2,664	2,845
その他の偶発損失引当金	492	372
再評価に係る繰延税金負債	32,309	32,270
支払承諾	54,782	54,740
負債の部合計	8,031,828	8,004,607
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,480	60,480
利益剰余金	226,182	369,455
株主資本合計	368,993	512,266
その他有価証券評価差額金	17,870	6,935
繰延ヘッジ損益	△ 5,347	△ 6,269
土地再評価差額金	46,542	46,717
評価・換算差額等合計	59,066	47,382
純資産の部合計	428,059	559,649
負債及び純資産の部合計	8,459,888	8,564,256

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	47,386	46,289
資金運用収益	38,782	36,196
(うち貸出金利息)	28,995	29,480
(うち有価証券利息配当金)	8,115	5,759
役務取引等収益	7,921	7,333
特定取引収益	58	71
その他業務収益	321	2,193
その他経常収益	301	494
経常費用	35,854	37,444
資金調達費用	10,350	6,872
(うち預金利息)	4,868	2,999
役務取引等費用	2,960	3,603
その他業務費用	861	458
営業経費	19,181	19,364
その他経常費用	2,499	7,145
経常利益	11,531	8,845
特別利益	—	1,091
償却債権取立益	—	1,091
特別損失	135	234
固定資産処分損	135	28
減損損失	—	205
税引前四半期純利益	11,396	9,702
法人税等	4,507	△ 11,953
四半期純利益	6,888	21,655

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】個別業績の概況（株式会社 熊本ファミリー銀行）

平成21年7月31日

会 社 名 株式会社 熊本ファミリー銀行

代 表 者 取締役頭取 鈴木 元 (URL <http://www.kf-bank.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員総合管理部長 村山 典隆 TEL (096)385-1116

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第1四半期の個別業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第1四半期	7,331 △12.8	399 △46.1	310 △61.2
21年3月期第1四半期	8,410 —	740 —	800 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,187,315	54,277	4.5
21年3月期	1,178,755	52,161	4.4

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 54,277百万円 21年3月期 52,161百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	22,138	22,469
コールローン	34,021	11,236
買入金銭債権	30	48
有価証券	227,009	221,396
貸出金	844,529	863,755
外国為替	564	503
その他資産	14,602	13,577
有形固定資産	19,628	19,644
無形固定資産	6,113	6,579
繰延税金資産	18,457	18,529
支払承諾見返	9,466	9,894
貸倒引当金	△ 9,247	△ 8,881
資産の部合計	1,187,315	1,178,755
負債の部		
預金	1,089,610	1,078,219
譲渡性預金	3,402	1,500
コールマネー	—	3,600
債券貸借取引受入担保金	10,387	10,101
外国為替	6	4
社債	10,000	10,000
その他負債	7,701	10,618
睡眠預金払戻損失引当金	414	440
その他の偶発損失引当金	1	153
再評価に係る繰延税金負債	2,047	2,061
支払承諾	9,466	9,894
負債の部合計	1,133,038	1,126,593
純資産の部		
資本金	47,802	47,802
資本剰余金	47,802	47,802
利益剰余金	△ 42,577	△ 42,909
株主資本合計	53,026	52,694
その他有価証券評価差額金	515	△ 1,289
土地再評価差額金	734	756
評価・換算差額等合計	1,250	△ 532
純資産の部合計	54,277	52,161
負債及び純資産の部合計	1,187,315	1,178,755

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】

株式会社 熊本ファミリー銀行
(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	8,410	7,331
資金運用収益	7,263	6,158
(うち貸出金利息)	6,099	5,343
(うち有価証券利息配当金)	1,055	725
役務取引等収益	1,076	955
その他業務収益	62	42
その他経常収益	8	174
経常費用	7,670	6,932
資金調達費用	1,436	787
(うち預金利息)	1,002	688
役務取引等費用	596	548
その他業務費用	147	61
営業経費	4,378	4,499
その他経常費用	1,111	1,036
経常利益	740	399
特別利益	125	59
固定資産処分益	20	1
償却債権取立益	105	58
特別損失	60	157
固定資産処分損	50	157
その他の特別損失	10	—
税引前四半期純利益	805	300
法人税等	5	△ 9
四半期純利益	800	310

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】個別業績の概況（株式会社 親和銀行）

平成21年7月31日

会社名 株式会社 親和銀行

代表者 取締役頭取 鬼木 和夫 (URL <http://www.shinwabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員総合管理部長 小川 正信 TEL (0956) 23-3579

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第1四半期の個別業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第1四半期	10,658 △19.9	2,136 256.8	2,279 40.6
21年3月期第1四半期	13,310 —	598 —	1,621 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,093,352	89,387	4.2
21年3月期	2,038,056	82,756	4.0

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 89,387百万円 21年3月期 82,756百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	58,407	147,724
コールローン	119,909	2,339
買入金銭債権	0	0
商品有価証券	198	114
有価証券	673,182	660,342
貸出金	1,181,925	1,167,049
外国為替	1,268	2,127
その他資産	13,149	10,925
有形固定資産	46,133	46,170
無形固定資産	3,494	2,520
繰延税金資産	15,262	17,243
支払承諾見返	10,991	12,180
貸倒引当金	△ 30,572	△ 30,681
資産の部合計	2,093,352	2,038,056
負債の部		
預金	1,860,816	1,852,506
譲渡性預金	89,539	44,927
借入金	9,436	10,043
外国為替	12	14
社債	12,500	15,000
その他負債	8,856	8,742
睡眠預金払戻損失引当金	455	480
再評価に係る繰延税金負債	11,356	11,404
支払承諾	10,991	12,180
負債の部合計	2,003,964	1,955,300
純資産の部		
資本金	80,831	80,831
資本剰余金	80,831	80,831
利益剰余金	△ 93,070	△ 95,407
株主資本合計	68,592	66,256
その他有価証券評価差額金	5,386	1,043
土地再評価差額金	15,407	15,456
評価・換算差額等合計	20,794	16,499
純資産の部合計	89,387	82,756
負債及び純資産の部合計	2,093,352	2,038,056

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	13,310	10,658
資金運用収益	9,920	8,202
(うち貸出金利息)	8,085	6,340
(うち有価証券利息配当金)	1,483	1,728
役務取引等収益	1,989	2,056
その他業務収益	53	206
その他経常収益	1,347	193
経常費用	12,711	8,522
資金調達費用	1,960	1,298
(うち預金利息)	1,578	991
役務取引等費用	808	797
その他業務費用	889	77
営業経費	6,852	6,161
その他経常費用	2,200	187
経常利益	598	2,136
特別利益	1,169	265
固定資産処分益	29	8
貸倒引当金戻入益	-	104
償却債権取立益	1,140	152
特別損失	134	136
固定資産処分損	98	14
減損損失	35	86
その他の特別損失	-	35
税引前四半期純利益	1,634	2,265
法人税等	12	△ 14
四半期純利益	1,621	2,279

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

平成21年度第1四半期 決算説明資料

～目次～

ページ

1 損益の状況		
・ FFG連結	1
・ 福岡銀行単体	2
・ 熊本ファミリー銀行単体	3
・ 親和銀行単体	4
2 資産・負債等の状況		
(1) 貸出金の状況	5
(2) 預金の状況	6
(3) 資産運用商品の状況	7
(4) 時価のある有価証券の評価差額金	8
3 金融再生法開示債権の状況	9

～補足説明～

- 本説明資料では、各計数の定義を次のとおりとしております。
 - 【FFG連結】 :ふくおかフィナンシャルグループ連結の計数
 - 【3行合算】 :福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の単体計数を単純合算した計数
 - 【3行合算+分割子会社】 :【3行合算】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数
 - 【福岡銀行連結】 :福岡銀行グループ連結の計数
 - 【熊本ファミリー銀行連結】 :熊本ファミリー銀行グループ連結の計数
 - 【親和銀行連結】 :親和銀行グループ連結の計数
 - 【福岡銀行単体】 :福岡銀行単体の計数
 - 【福岡銀行単体+分割子会社】 :【福岡銀行単体】と親和コーポレートパートナーズを単純合算した計数
 - 【熊本ファミリー銀行単体】 :熊本ファミリー銀行単体の計数
 - 【親和銀行単体】 :親和銀行単体の計数
- 平成21年6月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。

あなたのいちばんに。

1. 損益の状況

ご参考

FFG連結

3行合算

(単位：億円)

	平成21年度 第1四半期 (3ヶ月)	平成20年度 第1四半期 (3ヶ月)	前年同期比	【参考】 平成21年3月期	平成21年度 第1四半期	
					(3ヶ月)	前年同期比
経常収益 【2,645】	652	690	△38	2,812	643	△48
業務粗利益	509	494	15	1,826	489	15
資金利益	414	423	△10	1,675	416	△6
役員取引等利益	64	75	△11	258	54	△12
特定取引利益	1	1	0	3	1	0
その他業務利益	30	△5	36	△110	18	33
うち国債等債券損益	△3	△2	△1	△173	△3	△1
経費(除く臨時処理分)	319	330	△11	1,301	287	△11
① 一般貸倒引当金繰入額	21	△48	69	△205	15	61
業務純益	170	212	△42	730	187	△35
コア業務純益	193	166	27	698	205	26
臨時損益等	△78	△108	29	△699	△72	21
② 不良債権処理額	62	106	△44	726	52	△42
(信用コスト①+②-③)	(70)	(45)	(25)	(500)	(54)	(18)
株式等関係損益	△3	5	△9	71	△5	△16
その他臨時損益等	△13	△7	△6	△44	△14	△5
経常利益 【337】	91	104	△13	31	115	△14
特別損益	8	9	△1	△90	8	△2
③ うち償却債権取立益	13	13	△0	21	13	1
税引前四半期(当期)純利益	100	113	△13	△59	123	△16
法人税等	△113	48	△161	△309	△120	△165
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△158	—	△158	△417	△158	△158
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	1	△5	30	—	—
四半期(当期)純利益【280】	216	64	153	219	242	149

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(193億円) = 業務純益(170億円) + 一般貸倒引当金繰入額(21億円) - 国債等債券損益(△3億円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に発表した平成21年度通期の業績予想。

業績サマリー

経常収益 652億円

年度計画進捗率 24.6%

- 経常収益は、資金運用収益が減少したことにより、前年同期比▲38億円減少し、652億円となりました。

コア業務純益 193億円

- コア業務純益は、資金利益・役員取引等利益の減少を経費削減等でカバーした結果、前年同期比27億円増加し、193億円となりました。

経常利益 91億円

年度計画進捗率 27.0%

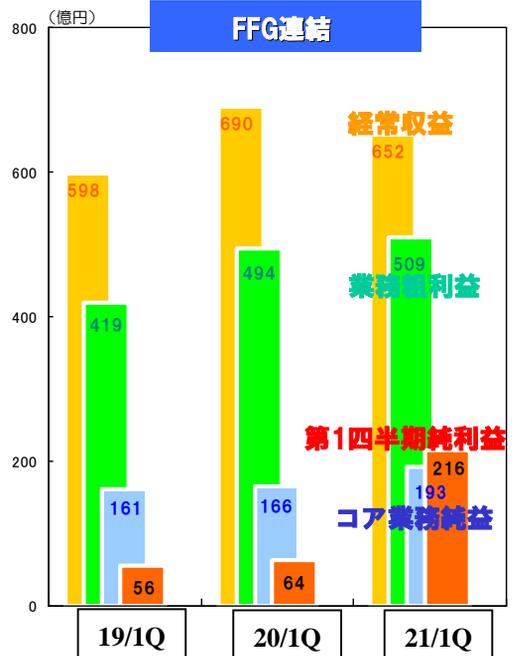
- 経常利益は、信用コストが増加したことにより前年同期比▲13億円減少し、91億円となりました。

四半期純利益 216億円

年度計画進捗率 77.2%

- 四半期純利益は、福岡銀行の子会社である親和コーポレート・パートナーズ株式会社を清算する方針としたことに伴い繰延税金資産が158億円計上された結果、216億円となりました。

損益の推移



(注) 親和銀行及びその関連会社は、平成19年9月28日にFFGの連結対象子会社となったため、「FFG連結」の平成19年度第1四半期には、親和銀行及びその関連会社の損益は含まれておりません。

福岡銀行単体

(単位：億円)

	平成21年度 第1四半期(3ヶ月)	平成20年度 第1四半期(3ヶ月)	前年同期比	(参考) 21年3月期
経常収益 【1,897】	463	474	△ 11	1,973
業務粗利益	349	329	19	1,209
資金利益	293	284	9	1,140
役務取引等利益	37	50	△12	162
特定取引利益	1	1	0	2
その他業務利益	17	△ 5	23	△ 95
うち国債等債券損益	△ 4	△ 2	△ 2	△ 118
うち外為売買損益	3	2	1	16
経費(除く臨時処理分)	185	188	△3	741
① 一般貸倒引当金繰入額	25	△8	33	6
業務純益	138	148	△10	462
コア業務純益 【600】	167	143	25	586
臨時損益等	△50	△33	△17	△293
② 不良債権処理額	36	29	7	362
(信用コスト①+②-③)	(50)	(21)	(29)	(363)
株式等関係損益	△4	0	△4	77
その他臨時損益等	△10	△4	△6	△9
経常利益 【347】	88	115	△27	169
特別損益	9	△1	10	△56
③ うち償却債権取立益	11	—	11	4
税引前四半期(当期)純利益	97	114	△17	114
法人税等	△120	45	△165	△151
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△158	—	△158	△256
四半期(当期)純利益 【355】	217	69	148	264

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(167億円) = 業務純益(138億円) + 一般貸倒引当金繰入額(25億円) - 国債等債券損益(△4億円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に発表した平成21年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 463億円 年度計画進捗率 24.4%

➤ 経常収益は、役務収益等の減少により前年同期比▲11億円の463億円となりました。

コア業務純益 167億円 年度計画進捗率 27.9%

➤ コア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益およびその他業務利益が増加したことにより前年同期比25億円増加し、167億円となりました。

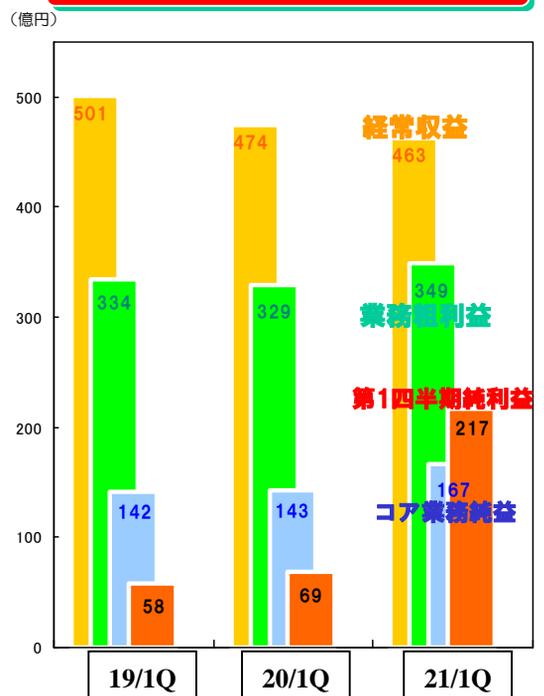
経常利益 88億円 年度計画進捗率 25.5%

➤ 経常利益は、信用コストが増加したことにより前年同期比▲27億円の88億円となりました。

四半期純利益 217億円 年度計画進捗率 61.0%

➤ 四半期純利益は、子会社の親和コーポレート・パートナーズ株式会社を清算する方針としたことに伴い繰延税金資産が158億円計上された結果、217億円となりました。

■ 損益の推移



熊本ファミリー銀行単体

(単位: 億円)

	平成21年度 第1四半期(3ヶ月)	平成20年度 第1四半期(3ヶ月)	前年同期比	(参考) 21年3月期
経常収益 【299】	73	84	△ 11	343
業務粗利益	58	62	△ 5	236
資金利益	54	58	△ 5	224
役務取引等利益	4	5	△ 1	19
その他業務利益	△ 0	△ 1	1	△ 6
うち国債等債券損益	—	—	—	2
うち外為売買損益	0	1	△ 1	3
経費(除く臨時処理分)	42	42	0	174
① 一般貸倒引当金繰入額	1	△ 6	7	△ 14
業務純益	15	27	△ 12	76
コア業務純益 【61】	16	21	△ 5	60
臨時損益等	△ 11	△ 19	8	△ 81
② 不良債権処理額	6	16	△ 10	51
(信用コスト①+②-③)	(6)	(9)	(△ 2)	(36)
株式等関係損益	△ 1	△ 1	△ 0	△ 18
その他臨時損益等	△ 4	△ 3	△ 1	△ 12
経常利益 【26】	4	7	△ 3	△ 5
特別損益	△ 1	1	△ 2	△ 27
③ うち償却債権取立益	1	1	△ 0	1
税引前四半期(当期)純利益	3	8	△ 5	△ 32
法人税等	△ 0	0	△ 0	△ 40
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	—	—	—	△ 40
四半期(当期)純利益 【25】	3	8	△ 5	7

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

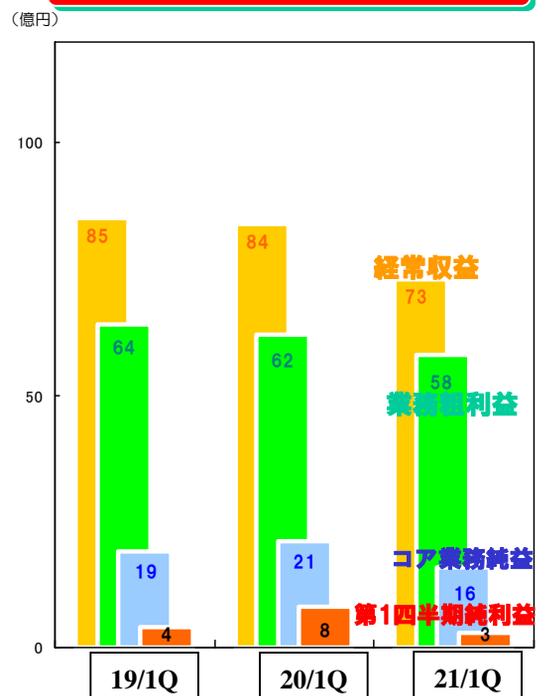
(注2) コア業務純益(16億円) = 業務純益(15億円) + 一般貸倒引当金繰入額(1億円) - 国債等債券損益(1億円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に発表した平成21年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 73億円	年度計画進捗率 24.5%
経常収益は、貸出金利息収益の減少等を主因に前年同期比▲11億円の73億円となりました。	
コア業務純益 16億円	年度計画進捗率 25.7%
コア業務純益は、資金利益減少を主因に前年同期比▲5億円の16億円となりました。	
経常利益 4億円	年度計画進捗率 15.3%
経常利益は、信用コストが減少したものの上記コア業務純益の減少により、前年同期比▲3億円の4億円となりました。	
四半期純利益 3億円	年度計画進捗率 12.4%
四半期純利益は、上記要因により前年同期比▲5億円の3億円となりました。	

■ 損益の推移



親和銀行単体

(単位：億円)

	平成21年度第1四半期(3ヶ月)		平成20年度 第1四半期(3ヶ月)	前年同期比(注4)	(参考) 21年3月期
	調整後(注4)	PL計上額(注4)			
経常収益 【423】	107	107	133	△27	487
業務粗利益	83	83	83	△0	285
資金利益	69	69	80	△11	305
役務取引等利益	13	13	12	1	46
その他業務利益	1	1	△8	10	△67
うち国債等債券損益	1	1	△0	1	△64
うち外為売買損益	0	0	0	0	2
経費(除く臨時処理分)	60	60	68	△8	261
① 一般貸倒引当金繰入額	△11	-	△32	21	△209
業務純益	34	23	47	△13	232
コア業務純益 【80】	22	22	15	7	87
臨時損益等	△11	△1	△41	29	△359
② 不良債権処理額	10	1	50	△39	282
(信用コスト①+②-③-④)	(△2)	(△2)	(7)	(△9)	(59)
株式等関係損益	△0	△0	11	△12	△54
その他臨時損益等	△1	△1	△2	2	△22
経常利益 【48】	22	21	6	16	△126
特別損益	0	1	10	△10	△22
③ うち貸倒引当金純取崩益	-	1	-	-	-
④ うち償却債権取立益	2	2	11	△10	14
税引前四半期(当期)純利益	23	23	16	6	△148
法人税等	△0	△0	0	△0	△138
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	-	-	-	-	△121
四半期(当期)純利益 【20】	23	23	16	7	△9

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(22億円) = 業務純益(34億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△11億円) - 国債等債券損益(1億円)

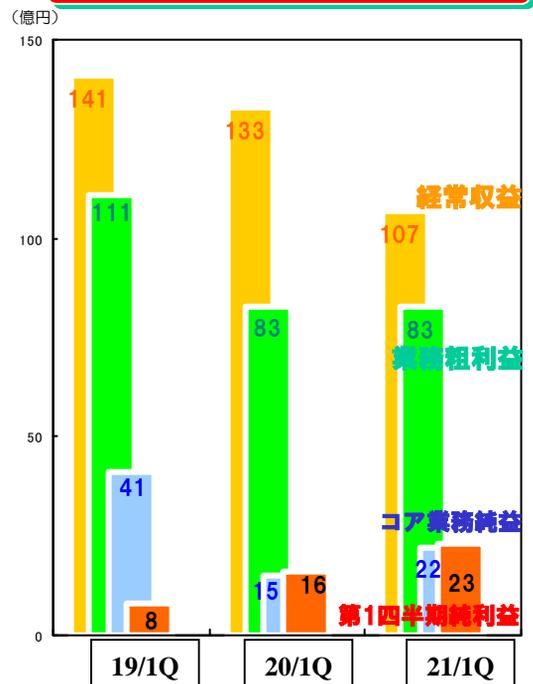
(注3) 【 】は、平成21年5月15日に発表した平成21年度通期の業績予想。

(注4) 当四半期は一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回っているため、相殺後の取崩額を特別損益の「貸倒引当金純取崩益」に計上しておりますが、前年同期及び3行合算での比較のため、「調整後」欄にて平成20年度第1四半期と同様の勘定科目で行った場合の表示を記載し、前年同期比較を行っております。

■業績サマリー

経常収益 107億円	年度計画進捗率 25.2%
経常収益は、貸出金利息の減少等を主に前年同期比▲27億円の107億円となりました。	
コア業務純益 22億円	年度計画進捗率 27.0%
コア業務純益は、資金利益の減少を経費削減やその他業務利益等によりカバーし、前年同期比+7億円の22億円となりました。	
経常利益 22億円	年度計画進捗率 46.7%
経常利益は、信用コストが減少(取崩益)となったことを主に前年同期比+16億円の22億円となりました。	
四半期純利益 23億円	年度計画進捗率 114.0%
四半期純利益は、上記要因等により前年同期比+7億円の23億円となりました。	

■ 損益の推移



(注) 当四半期の業績サマリーおよび損益の推移グラフは、前年同期比較のため、平成20年度第1四半期と同様の勘定科目で行った場合の数値を記載し比較しております。

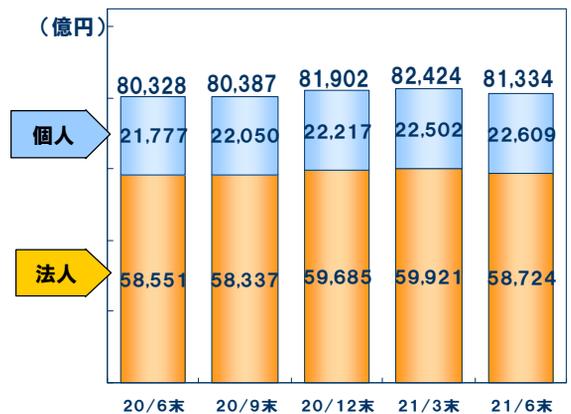
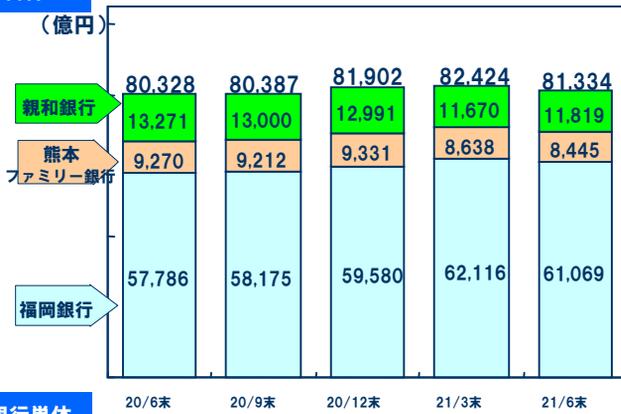
2. 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

■ 貸出金末残（銀行別）

■ 貸出金末残（セグメント別）

3行合算



福岡銀行単体

- 総貸出金は、21/3末比▲1,046億円減少し、61,069億円（前年同期比+3,283億円、年率+5.7%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/3末比+85億円（前年同期比+849億円、年率+5.5%）の16,293億円、法人部門は同▲1,131億円（同+2,434億円、年率+5.7%）の44,776億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、21/3末比▲192億円減少し、8,445億円（前年同期比▲825億円、年率▲8.9%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/3末比▲3億円（前年同期比▲159億円、年率▲5.3%）の2,838億円、法人部門は同▲189億円（同▲666億円、年率▲10.6%）の5,607億円となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、21/3末比+149億円増加し、11,819億円（前年同期比▲1,452億円、年率▲10.9%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/3末比+25億円の3,478億円（前年同期比+143億円、年率+4.3%）、法人部門は21/3末比+124億円（同▲1,594億円、年率▲16.0%）の8,341億円となりました。

(単位：億円)

	21年6月末				21年3月末	20年6月末
	(年率：%)		21/3末比	20/6末比		
3行合算	総貸出金	(1.3%)	81,334	△ 1,090	82,424	80,328
	個人部門	(3.8%)	22,609	107	22,502	21,777
	法人部門	(0.3%)	58,724	△ 1,197	59,921	58,551
	ローン残高	(5.1%)	21,300	151	21,150	20,275
	うち住宅ローン	(6.2%)	19,611	209	19,402	18,472
	中小企業等貸出金比率	-	71.1%	△ 0.2%	71.3%	73.1%
福岡銀行単体	総貸出金	(5.7%)	61,069	△ 1,046	62,116	57,786
	個人部門	(5.5%)	16,293	85	16,208	15,444
	法人部門	(5.7%)	44,776	△ 1,131	45,908	42,342
	福岡県内貸出金	(5.5%)	48,157	△ 849	49,005	45,625
	ローン残高	(5.8%)	16,058	103	15,956	15,181
	うち住宅ローン	(6.6%)	14,858	143	14,715	13,935
中小企業等貸出金比率	-	68.7%	0.2%	68.5%	69.5%	
熊本ファミリー銀行単体	総貸出金	(△ 8.9%)	8,445	△ 192	8,638	9,270
	個人部門	(△ 5.3%)	2,838	△ 3	2,841	2,997
	法人部門	(△ 10.6%)	5,607	△ 189	5,797	6,273
	熊本県内貸出金	(△ 6.0%)	7,600	△ 144	7,744	8,082
	ローン残高	(△ 2.9%)	2,462	△ 1	2,463	2,536
	うち住宅ローン	(△ 1.5%)	2,288	7	2,281	2,323
中小企業等貸出金比率	-	88.3%	△ 0.3%	88.6%	89.6%	
親和銀行単体	総貸出金	(△ 10.9%)	11,819	149	11,670	13,271
	個人部門	(4.3%)	3,478	25	3,453	3,336
	法人部門	(△ 16.0%)	8,341	124	8,217	9,935
	長崎県内貸出金	(△ 10.4%)	7,847	△ 218	8,065	8,758
	ローン残高	(8.6%)	2,780	49	2,731	2,558
	うち住宅ローン	(11.3%)	2,465	59	2,406	2,214
中小企業等貸出金比率	-	70.7%	△ 2.6%	73.3%	76.9%	

(注1) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金（20年6月末 700億円、21年3月末 1,050億円、21年6月末 1,070億円）及び熊本ファミリー銀行向け貸出金（20年6月末 100億円）を含んでおります。

(注2) 中小企業等貸出金比率は、特別国際金融取引勘定を除き算出しております。

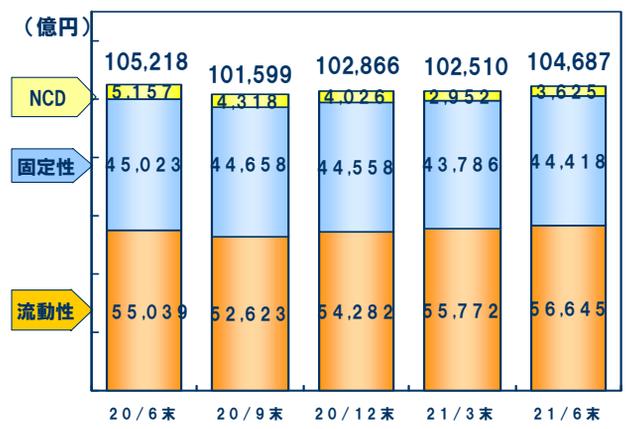
(2) 預金の状況

3行合算

■ 預金・NCD末残（銀行別）



■ 預金・NCD末残（セグメント別）



福岡銀行単体

- 総資金（預金+NCD）は、21/3末比+1,515億円増加し、74,254億円（前年同期比+423億円、年率+0.6%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/3末比+1,460億円（前年同期比+1,683億円、年率+3.4%）、法人預金は同▲153億円（同+273億円、年率+1.4%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、21/3末比+133億円増加し、10,930億円（前年同期比▲397億円、年率▲3.5%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/3末比+86億円（前年同期比▲226億円、年率▲2.6%）、法人預金は同+28億円（同▲205億円、年率▲8.0%）となりました。

親和銀行単体

- 総資金は、21/3末比+530億円増加し、19,504億円（前年同期比▲557億円、年率▲2.8%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/3末比+139億円（前年同期比▲603億円、年率▲4.3%）、法人預金は同▲56億円（同+79億円、年率+1.5%）となりました。

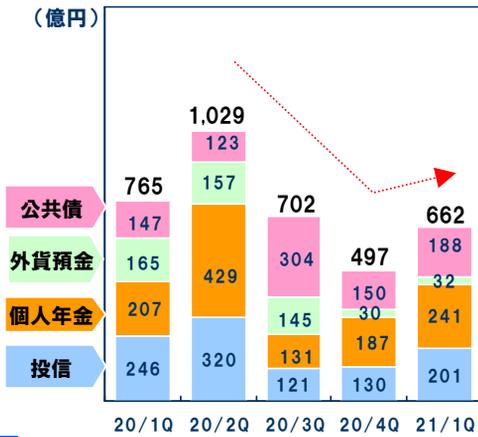
（単位：億円）

3行合算	21年6月末				21年3月末	20年6月末
	(年率:%)		21/3末比	20/6末比		
個人預金	(1.2%)	73,550	1,685	853	71,865	72,697
法人預金	(0.5%)	27,512	△ 181	147	27,693	27,364
合計	(1.0%)	101,062	1,505	1,001	99,558	100,062
流動性	(2.9%)	56,645	873	1,606	55,772	55,039
固定性	(△ 1.3%)	44,418	632	△ 605	43,786	45,023
総資金(預金+NCD)	(△ 0.5%)	104,687	2,178	△ 531	102,510	105,218
福岡銀行単体						
個人預金	(3.4%)	51,721	1,460	1,683	50,260	50,038
法人預金	(1.4%)	19,838	△ 153	273	19,990	19,564
合計	(2.8%)	71,558	1,308	1,956	70,250	69,602
流動性	(2.9%)	43,251	670	1,217	42,581	42,034
固定性	(2.7%)	28,307	638	739	27,669	27,568
総資金(預金+NCD)	(0.6%)	74,254	1,515	423	72,738	73,831
福岡県内預金	(3.0%)	67,500	2,069	1,944	65,431	65,557
熊本ファミリー銀行単体						
個人預金	(△ 2.6%)	8,552	86	△ 226	8,466	8,778
法人預金	(△ 8.0%)	2,344	28	△ 205	2,317	2,549
合計	(△ 3.8%)	10,896	114	△ 431	10,782	11,327
流動性	(△ 0.9%)	4,151	62	△ 37	4,089	4,188
固定性	(△ 5.5%)	6,745	52	△ 395	6,693	7,139
総資金(預金+NCD)	(△ 3.5%)	10,930	133	△ 397	10,797	11,327
熊本県内預金	(△ 3.3%)	10,026	138	△ 345	9,888	10,371
親和銀行単体						
個人預金	(△ 4.3%)	13,278	139	△ 603	13,139	13,881
法人預金	(1.5%)	5,330	△ 56	79	5,386	5,251
合計	(△ 2.7%)	18,608	83	△ 524	18,525	19,132
流動性	(4.8%)	9,242	141	426	9,101	8,816
固定性	(△ 9.2%)	9,366	△ 58	△ 950	9,424	10,316
総資金(預金+NCD)	(△ 2.8%)	19,504	530	△ 557	18,974	20,060
長崎県内預金	(0.1%)	15,669	514	21	15,154	15,648

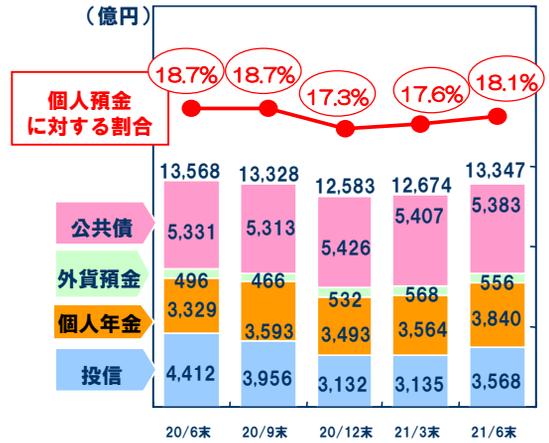
(3) 資産運用商品の状況

3行合算

■ 資産運用商品販売高



■ 個人預かり資産残高



福岡銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、前年同期比▲145億円減少し、406億円となりました。
- 個人預かり資産の残高は、21/3末比+407億円増加し、9,704億円（前年同期比▲626億円、年率▲6.1%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、前年同期比▲26億円減少し、81億円となりました。
- 個人預かり資産の残高は、21/3末比+79億円増加し、1,359億円（前年同期比+197億円、年率16.9%）となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、前年同期比+68億円増加し、175億円となりました。
- 個人預かり資産の残高は、21/3末比+186億円増加し、2,284億円（前年同期比+208億円、年率10.0%）となりました。

販売額

残高

(単位: 億円)

	21年度第1四半期 (前年同期比: %)		20年度第4四半期		20年度第1四半期	
	20年度第4四半期比	20年度第1四半期比	20年度第4四半期	20年度第1四半期	20年度第4四半期	20年度第1四半期
3行合算						
投資信託	(△ 18.4%)	201	71	△ 45	130	246
個人年金保険	(16.6%)	241	54	34	187	207
外貨預金	(△ 80.9%)	32	2	△ 133	30	165
公共債	(28.2%)	188	38	41	150	147
合計	(△ 13.5%)	662	165	△ 103	497	765
個人預金に対する割合						
福岡銀行						
投資信託	(△ 37.0%)	116	36	△ 68	80	184
個人年金保険	(0.9%)	125	33	1	92	124
外貨預金	(△ 91.5%)	12	△ 6	△ 134	18	147
公共債	(57.6%)	152	40	56	112	97
合計	(△ 26.4%)	406	103	△ 145	302	551
個人預金に対する割合						
熊本ファミリー銀行						
投資信託	(1.2%)	25	11	0	14	25
個人年金保険	(△ 1.8%)	40	7	△ 1	32	40
外貨預金	(△ 34.4%)	8	1	△ 4	7	13
公共債	(△ 71.3%)	9	△ 0	△ 21	9	30
合計	(△ 24.3%)	81	19	△ 26	62	107
個人預金に対する割合						
親和銀行						
投資信託	(58.8%)	60	25	22	35	38
個人年金保険	(79.8%)	77	13	34	63	43
外貨預金	(93.7%)	11	6	5	5	6
公共債	(34.6%)	27	△ 2	7	29	20
合計	(64.4%)	175	42	68	132	106
個人預金に対する割合						

	21年6月末 (年率: %)		21年3月末		20年6月末	
	21/3末比	20/6末比	21年3月末	20年6月末	20年6月末	20年6月末
3行合算						
投資信託	(△ 19.1%)	3,568	433	△ 844	3,135	4,412
個人年金保険	(15.3%)	3,840	276	511	3,564	3,329
外貨預金	(12.1%)	556	△ 12	60	568	496
公共債	(1.0%)	5,383	△ 24	52	5,407	5,331
合計	(△ 1.6%)	13,347	673	△ 220	12,674	13,568
個人預金に対する割合	—	18.1%	0.5%	△ 0.6%	17.6%	18.7%
福岡銀行						
投資信託	(△ 20.9%)	2,554	293	△ 674	2,261	3,228
個人年金保険	(4.2%)	2,352	167	95	2,185	2,257
外貨預金	(△ 2.7%)	413	△ 14	△ 11	428	425
公共債	(△ 0.8%)	4,385	△ 38	△ 34	4,423	4,420
合計	(△ 6.1%)	9,704	407	△ 626	9,297	10,330
個人預金に対する割合	—	18.8%	0.3%	△ 1.8%	18.5%	20.6%
熊本ファミリー銀行						
投資信託	(△ 13.2%)	344	39	△ 52	305	397
個人年金保険	(28.6%)	671	36	149	636	522
外貨預金	(48.2%)	95	△ 2	31	97	64
公共債	(38.3%)	249	7	69	241	180
合計	(16.9%)	1,359	79	197	1,280	1,162
個人預金に対する割合	—	15.9%	0.8%	2.7%	15.1%	13.2%
親和銀行						
投資信託	(△ 14.9%)	670	102	△ 117	568	787
個人年金保険	(48.5%)	817	73	267	744	550
外貨預金	(578.1%)	48	4	41	43	7
公共債	(2.4%)	749	7	18	743	732
合計	(10.0%)	2,284	186	208	2,098	2,076
個人預金に対する割合	—	17.2%	1.2%	2.2%	16.0%	15.0%

(4) 時価のある有価証券の評価差額金

FFG連結

- 時価のある有価証券残高は、21/3末比+242億円増加し、21,133億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、21/3末比+257億円増加し、344億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、21/3末比+66億円増加し、12,266億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、21/3末比+181億円増加し、296億円となりました。

熊本ファミリー銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、21/3末比+59億円増加し、2,194億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、21/3末比+19億円増加し、6億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、21/3末比+120億円増加し、6,689億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、21/3末比+63億円増加し、79億円となりました。

(単位:億円)

	21年6月末								21年3月末		20年6月末		
	時価	21/3末比	20/6末比	評価差額	うち評価益	うち評価損	21/3末比	20/6末比	時価	評価差額	時価	評価差額	
FFG連結	その他有価証券	21,133	242	△ 2,124	344	562	218	257	181	20,892	87	23,258	163
	株式	1,002	91	△ 400	169	278	109	94	△ 286	911	74	1,402	455
	債券	15,982	120	310	235	240	5	97	442	15,862	138	15,672	△ 207
	国債	7,242	100	24	136	136	0	43	312	7,141	93	7,217	△ 176
	地方債	350	△ 36	△ 217	4	4	0	3	6	386	1	567	△ 2
	社債	8,390	55	502	94	99	5	50	124	8,335	44	7,888	△ 30
	その他	4,149	31	△ 2,034	△ 59	45	104	65	25	4,118	△ 125	6,184	△ 85
福岡銀行連結	その他有価証券	12,266	66	△ 3,024	296	451	155	181	69	12,200	114	15,290	227
	株式	823	68	△ 226	253	316	63	72	△ 205	754	181	1,049	458
	債券	7,542	△ 28	△ 730	86	90	4	50	241	7,570	36	8,272	△ 155
	国債	2,408	57	99	29	29	0	21	164	2,351	8	2,309	△ 135
	地方債	126	△ 49	△ 124	1	1	0	1	2	175	0	250	△ 0
	社債	5,008	△ 36	△ 705	55	59	4	28	75	5,044	27	5,713	△ 20
	その他	3,901	25	△ 2,068	△ 43	45	87	60	33	3,876	△ 102	5,969	△ 76
熊本ファミリー銀行連結	その他有価証券	2,194	59	△ 42	6	35	29	19	29	2,135	△ 13	2,236	△ 23
	株式	79	6	△ 54	△ 25	4	29	8	△ 15	73	△ 33	133	△ 10
	債券	2,114	53	12	30	31	0	11	43	2,062	20	2,103	△ 13
	国債	1,636	43	200	23	23	-	6	36	1,594	17	1,437	△ 12
	地方債	3	0	△ 5	0	0	-	0	△ 0	3	△ 0	8	0
	社債	475	10	△ 183	7	7	0	4	8	465	3	658	△ 1
	その他	1	0	△ 0	△ 0	-	0	0	△ 0	1	△ 0	1	0
親和銀行連結	その他有価証券	6,689	120	937	79	108	29	63	157	6,569	16	5,752	△ 78
	株式	111	20	△ 125	6	19	14	20	△ 6	91	△ 14	236	11
	債券	6,330	95	1,028	86	87	1	38	164	6,236	48	5,302	△ 78
	国債	3,197	0	△ 274	53	53	0	18	120	3,197	35	3,471	△ 66
	地方債	221	12	△ 88	2	2	1	2	3	208	△ 1	309	△ 2
	社債	2,912	82	1,390	31	31	0	18	41	2,830	13	1,522	△ 10
	その他	248	6	34	△ 13	1	14	5	△ 1	242	△ 18	214	△ 11

満期保有目的の債券に係る含み損益は、以下のとおりであります。

(単位:億円)

	21年6月末								21年3月末		20年6月末	
	帳簿価額	21/3末比	20/6末比	含み損益	うち評価益	うち評価損	21/3末比	20/6末比	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
FFG連結	1,374	242	407	88	89	1	14	85	1,132	74	968	3
福岡銀行連結	1,374	242	407	88	89	1	14	85	1,132	74	968	3
熊本ファミリー銀行連結	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親和銀行連結	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 金融再生法開示債権の状況

3行合算+分割子会社

【部分直接償却後】

■ 開示債権残高（各子銀行の部分直接償却後の残高を合算しております。）

（単位：億円）

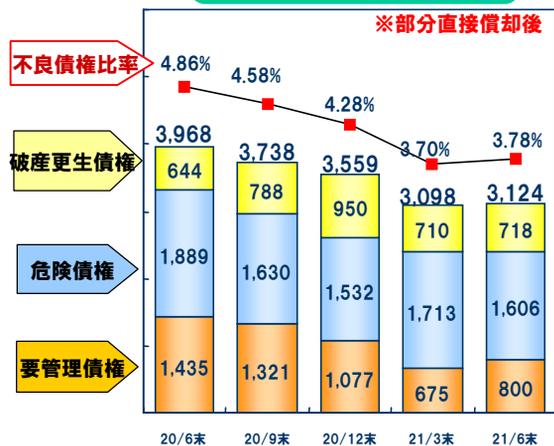
	21年6月末	21/3末比	20/6末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	718	8	74
危険債権	1,606	△ 107	△ 283
要管理債権	800	125	△ 635
①合計(金融再生法開示債権)	3,124	26	△ 845
正常債権	79,548	△ 1,106	1,791
②総与信残高	82,671	△ 1,080	946
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	3.78%	0.08%	△1.08%

■ 保全率【21年6月末】（各子銀行の部分直接償却後の計数を合算しております。）

（単位：億円）

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	3,124	2,445	1,037	1,408	78.3%

■ 開示不良債権残高
3行合算+分割子会社



福岡銀行単体+分割子会社

- 金融再生法開示債権は、21年3月末比+25億円増加し、2,595億円（前年同期比+1,262億円）となりました。また、不良債権比率は、同+0.11%増加し、4.18%（同+1.91%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 金融再生法開示債権は、21年3月末比+9億円増加し、126億円（前年同期比▲395億円）となりました。また、不良債権比率は、同+0.13%増加し、1.46%（同▲4.06%）となりました。

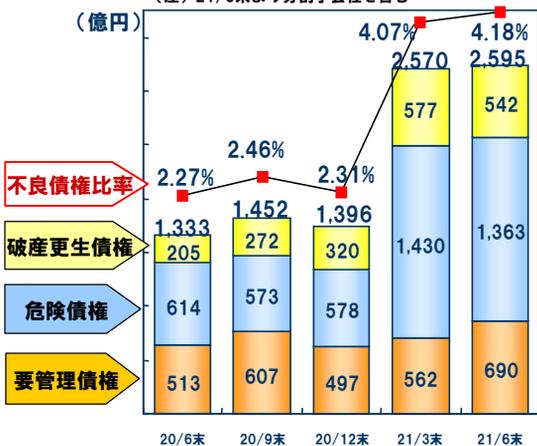
親和銀行単体

- 金融再生法開示債権は、21年3月末比▲8億円減少し、404億円（前年同期比▲1,712億円）となりました。また、不良債権比率は、同▲0.11%減少し、3.36%（同▲12.26%）となりました。

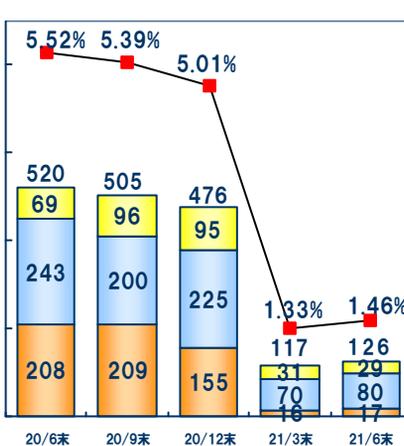
■ 開示不良債権残高・比率

福岡銀行単体+分割子会社

（注）21/3末より分割子会社を含む

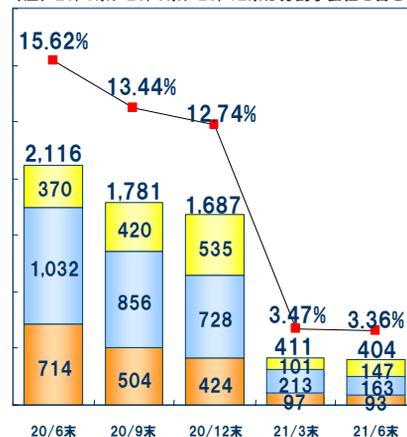


熊本ファミリー銀行単体



親和銀行単体

（注）20/6末、20/9末、20/12末は分割子会社を含む



（注）上記グラフの平成21年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、各開示区分の金額は、平成21年3月末から同6月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び各子銀行の行内格付の変動を反映させた同6月末時点での債務者格付・自己査定基準に基づく残高を記載しております。

【債権者区分との関係】
 ○破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・「実質破綻先」及び「破綻先」の債権 ○危険債権・・・「破綻懸念先」の債権
 ○要管理債権・・・要注意先のうち、債権毎の区分で「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権